

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：6年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、特にソフトボール投げの力強さや、ボールを適切な位置でタイミングよく投げる力が優れている。
- 男女ともに、20mシャトルランにおける全身持久性が優れている。
- 男子は、特に長座体前屈の体の柔軟性や、反復横跳びなどのすばやく体を動かす力に課題が見られた。
- 女子は、特に上体起こしの筋力を持続する力や、長座体前屈の体の柔軟性に課題が見られた。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・1校1取り組みの「縄跳び」に取り組んだことにより、児童の全身持久力の向上を図ることができた。
- ・主運動につながる準備運動に取り組むことで技術の向上を図ることができた。

②改善を図る点

- ・体の柔軟性を高める運動を、体育の時間の準備運動を通して継続して行うこと
- ・体育の授業の中で、児童が主体的に練習に取り組むことができるような場づくりを行うこと

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・学校で体を動かすことを子どもたちにすすめる。(体育の学習以外での外遊び等)
- ・異学年交流を図り、手本を示すなど体力向上を学校全体で行っていけるようにする。(縦割り、異学年交流など)